

2009年度

| | | | |
|---------------|---|-----|-------|
| 科目名 | 文章表現 | | |
| 担当教員 | 小伏 志穂 | | |
| 配当 | 英語1・文財1・教福1・人社1 | コード | 14110 |
| 開期 | 後期 | 講時 | 月曜日4限 |
| | | 単位数 | 2 |
| 授業テーマ | わたしの文章、これで大丈夫？ 基本をおさえて、自分の文章を見直そう | | |
| 目的と概要 | 親しい友人とのメール交換や日々のあれこれを綴るブログなど、わたしたちが楽しみながら「文章」を書く機会が増えてきています。しかし、あまりにも気軽に書けるため、ただ書きなぐっているだけになっていないでしょうか。この授業では、大学での学びや社会生活全般において必要不可欠な文章表現の基本的「型」を知ることから始めます。基本を踏まえた上で、自分らしい「型破り」なおもしろい表現を見つけ、書くことを楽しんでいきましょう。 | | |
| 成績評価法 | 授業への参加度(課題提出・小テストの取り組みなど)で総合評価します。 | | |
| テキスト | 受講生自身の文章が、生きたテキストとなります。適宜プリントを配布します。 | | |
| 参考書 | 必要に応じて、講義中に指示します。 | | |
| 履修に当たっての注意・助言 | 毎時間課題提出があります。また、提出された作文の復習を後日おこないますので、継続的な出席が必要で | | |
| | す。 | | |
| | 講義計画 | | |
| 第1回 | 手紙文・案内文を書く 一定の「書式」のある文章の型と、敬意表現を練習します。 | | |
| 第2回 | 第1回の復習 「復習」の回には、前回は提出された文章をもとに作成した文例集を配布し、どのような表現がふさわしいのかを解説します。また、自分の文章を推敲したり、受講生同士で評価し合ったりします。 | | |
| 第3回 | メール文を書く 用件を正確に伝える練習をします。また、メール文のマナーについてみんなで考えてみましょう。 | | |
| 第4回 | 第3回の復習 | | |
| 第5回 | 随筆文を書く まずは、「見たこと」「感じたこと」を自由に表現してみましょう。「誰にでもわかる文章」で「自分にしか書けないこと」を書くことを目標とします。 | | |
| 第6回 | 第5回の復習 | | |
| 第7回 | 論理的な文章を書く 課題に対して「考えたこと」を、論理的にまとめます。文章にするとすることは、自分の考えをしっかりと組み立てなければなりません。考えや意見をきちんとまとめることを目標とします。 | | |
| 第8回 | 第7回の復習 | | |
| 第9回 | 小説を書く 「伏線」や「落ち」を考えながら、表現を工夫する練習をします。広告文などに見られるレトリックを用いた文章も書いてみましょう。 | | |
| 第10回 | 第10回の復習 | | |
| 第11回 | 作文の一般的ルールを知る 「現代表記法」や「間違いやすい表現」など、作文における一般的なルールをテーマごとに取り上げます。 | | |
| 第12回 | 第11回の復習 | | |
| 第13回 | 資格試験の問題に取り組む 各種試験に出題される、国語表現に関わる設問に挑戦してみましょう。 | | |
| 第14回 | 第13回の復習 | | |
| 第15回 | 全回のまとめ 以上の半年で取り組んださまざまなポイントに気を配って書いてみましょう。 | | |